

医療安全セミナーにおける各セッションのねらい

学習目標：

1. 医療安全に係る国の施策や、医療の安全と質向上にかかわる基本事項について理解する。
2. 医療安全上の課題の本質的解決に向けた、システム思考等の新たな視点について学習する。
3. 医療者のみならず、患者や地域住民の視点を含めた医療の在り方について考える。

(敬称略)

1日目：平成30年5月30日（水）

開始	終了	タイトル	座長	講師	ねらい
10:05	10:35	医療人養成のための 取り組み		文部科学省 高等教育局医学教育課 大学病院支援室 室長 丸山 浩	高度な医療を提供する大学病院を取り巻く諸課題および医療人の育成など文部科学省施策について学習する。
10:35	11:25	患者安全サミットにみる 日本と世界の医療安全 ～patient centeredness ～		厚生労働省 医政局総務課 医療安全推進室 室長補佐 中川 慧	第3回閣僚級世界患者安全サミットで紹介された世界の医療安全の重要課題および最新の情報を理解する。
11:35	12:35	ヒューマンファクターズ の方法論 ～改めて全体像を理解する～	森山記念病院 歯科口腔外科 宮本 智行	早稲田大学理工学術院 教授 小松原 明哲	人間工学の視点から安全を確保するための理論と行動についての基本事項を学び、医療現場で起こる事象について全体像を広く理解し対応するための方法論を学習する。
13:35	14:35	クオリティ劇場：チーム で挑む朝の15分！	横浜市立大学附属病院 市民総合医療センター 医療安全管理部 准教授 同大学大学院医学研究科救急医学 中村 京太	大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 看護師長 新開 裕幸 薬剤師 木下 徳康	日々報告される医療安全上の課題を入口として、医療安全部門の多職種混成チームが有機的に役割分担し、日常業務の円滑化と質向上に向けて様々な視点から取り組む手法について具体的に学習する。
14:45	15:45	チーム医療において 薬剤師力をどう発揮する か！	兵庫医科大学 内科学冠疾患科 准教授 同大学病院 医療安全管理部 准教授 高橋 敬子	大垣市民病院 薬剤部 部長 吉村 知哲	疾患や病態毎に構成された薬剤師チームが、多職種を含むチーム医療において薬剤師力を存分に発揮する取り組みについて学習する。

15:55	16:55	多職種で取り組む 手術医療の質向上と 医療安全の推進	大阪大学 医学部附属病院 手術部 部長 南 正人	岐阜大学医学部附属病院 手術部 副部長 長瀬 清	周術期医療の質を可視化することで 手術部における医療の質と安全向上 を導いた実績や、さらなる多職種協 働の仕組みについて、手術医療、医 療情報、組織マネジメントの視点か ら学ぶ。
-------	-------	----------------------------------	-----------------------------------	--------------------------------	--

2日目：平成30年5月31日（木）

開始	終了	タイトル	座長	講師	ねらい
9:30	10:30	医療安全 20年のあゆみ	大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 部長 中島 和江	滋慶医療科学大学院大学 医療管理学研究科 特任教授 江原 一雅	医療安全元年から約20年、わが国 における医療の質と安全の探求がど のようになされてきたのかについて 振り返り、今後進むべき姿について 考察する。
10:40	11:40	システム思考入門 ～部分最適から全体最適 へ～	大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部 部長 中島 和江	立命館大学大学院 テクノロジー・マネジメント研究科 副研究科長・教授 湊 宣明	現場をシステムとして捉え、そのつ ながりやダイナミクスを把握しなが ら諸課題の本質的な解決を導くシス テム思考について、基本的知識を得 る。
12:40	13:40	高度急性期医療の場での 抑制しない看護へのチャ レンジ	大阪大学医学部附属病院 副病院長・看護部長 越村 利恵	前 金沢大学附属病院 看護部長 小藤 幹恵	高齢化社会を迎える中で、患者の尊 厳と幸福を中心目標に据えることか ら始まった、「抑制しない」という 常識にとらわれない新たなチャレ ンジについて学習する。
13:50	14:50	自己選択型医療のすすめ	群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学講座 教授 小松 康宏	患医ねっと 代表 鈴木 信行	患者の視点からみた最善の医療につ いて医療者と患者が手と手を取り 合って考え、決定していく患者協働 型医療について学習する。
15:00	16:00	破綻から見えた健康と幸 せの秘訣とは	香川県立中央病院 院長 太田 吉夫	南日本ヘルスリサーチラボ 鹿児島県参与 森田 洋之	自治体の経営破綻により医療インフ ラが大幅に縮小された中で、地域住 民がどのように自律性を発揮したの か、またその効果について学び、高 齢化社会における今後の医療の在り 方について考える。